



議会だより

No.31

平成24年8月25日
発行：吉野川市議会

おじのあな



●目次●

議案の審議から	2
代表質問	6
一般質問	7



議会構成	14
市民のページ	15
クイズ	15

呉郷保育所（七夕まつり・天寿会との交流）

平成24年6月議会定例会

議案の審議から

日程：平成24年6月4日～6月22日

6月定例会では、条例関係案2件、予算関係案1件、専決関係案12件、その他9件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

産業建設常任委員会

専決処分の承認を求めることについて

▼平成23年度吉野川市一般会計補正予算 第6号について

質問 工事請負費の減額補正は、入札による請差が多いようだが理由は。

じることにより発生する。

特定の路線に予算が付

いている場合は、別の路

線に予算を回すことがで

きないため、入札請差と

して減額する。

建設課では市単独予算で複数路線の予算を組んでいる場合があり、その場合は請差で予算が余れば、他の路線に回すこともできるが、国や県の補助金で事業をしている場合は、その路線の特定予算となるので、請差が生じたときは減額補正している。

◇以上異議なしで承認

▼吉野川市水害に強いまちづくり条例の一部を改正する条例制定について

質問 5月15日の山瀬公民館での説明会には、どれくらいの人数が来て、どのような質問があったのか。

案内は約100人に送付し、当日参加は20人。

その説明会では主に条

例の趣旨を説明し、強い

反対意見は無かった。条

例の趣旨については、概

ね理解いただいたと考え

ている。

説明会の中でほたる川に対する要望があり、一

番要望が強かったのは、ほたる川の河床の※**浚**（ほ）**渌**（ろ）。ほたる川は県の管理区域なので、市としても強く県に要望すると説明をした。

その他、現在継続して行われているほたる川改修工事の事業効果についての質問や※**雨水**（あま）**流出**（しゅ）**抑制**（しよ）**制**（せい）**施設**（しせ）**の必要貯留空間**（ひつようちりゅうくわん）を※**湛水**（たんすい）として失われる部分の5%とした根拠につ

答弁 5月15日、午後7時から山瀬公民館で地元地権者を対象に説明会を開催した。

個人的な質問については、それぞれ状況が異なるので、個別に対応することでの理解をいただいた。

◇以上異議なしで可と決定

※浚渫とは
海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること。

※雨水流出抑制施設とは
雨水を一時的に貯留させる機能がある施設のこと。

※湛水とは
水を満たすこと。

▼平成24年度吉野川市一般会計補正予算 第1号について

質問 善入寺島防災・減災工事は、大型土嚢積工を6月から9月にかけて行うようだが、梅雨や台風の影響は大丈夫なのか。

答弁 施工する時期は出水期にあたる時期ではあるが、これから予測される台風などの豪雨によって善入寺島の耕作表土が

流されるのを防止するため、できるだけ早い時期に土嚢積みを完成させた

い。国土交通省工事分と善入寺土地改良区工事分の区分については、現在国土交通省がごマットを布設しているが、そこから10mの管理道をはさんで善入寺土地改良区が大型土嚢積工、植栽工を行う。

答弁 区分について、国

状況は。

国土交通省が施工する部分は災害復旧工事として行われ、原則原型復旧が基本となっている。その災害復旧工事の部分が国土交通省の施工する部分である。

質問 国土交通省が行うかごマット工などの進捗

答弁 現在、根固めブロック積工は完成しており、これからかごマット工を行うと聞いている。

◇以上異議なしで可と決定



減災工事前の善入寺島

専決処分の承認を求めることについて

▼平成23年度吉野川市公共下水道事業特別会計補正予算 第4号について

▼平成23年度吉野川市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算 第3号について

質問 喜来ポンプ場災害復旧工事の進捗状況は。

品取替作業を行っている。6月中には電気設備、

答弁 今年1月に国の施工承認を受け、2月10日に機械設備および電気設備の災害復旧工事の入札を行った。事業の完了としては、

工期は2月15日から7月20日までと設定している。最終書類の提出および審査、本検査などを工期内の7月20日までに終わら

せたいと考えている。6現在設備機器の搬入、設置が完了しているが、塗装工などの付帯工事は残っている。

機械設備については、現在2号機から4号機のディーゼルエンジンの部

◇以上異議なしで承認

文教厚生常任委員会

専決処分の承認を求めることについて

▼平成23年度吉野川市一般会計補正予算 第6号について

質問

小学校費および中学校費の教育振興費で、準要保護児童扶助費と生徒扶助費がそれぞれ580万円、750万円減額されているがその理由は。

答弁

準要保護児童生徒扶助費については、平成23年度は小学校260名、中学校190名、合わせて450名で予算を組んでいたが、受給実績は小・中学校合わせて396名であった。

平成23年度当初予算編成に際しては、過去の実績を踏まえて編成していたが、予想された受給人数より若干少なかったことにより減額した。

◇以上異議なしで承認



鴨島中央保育所

総務常任委員会

専決処分の承認を求めることについて

▼吉野川市税条例の一部を改正する条例について

質問

今回の税条例一部改正で固定資産税の税収はどうなるのか。

答弁

条例減額の終了により税収増を期待していたが、平成24年度は評価

た。

◇以上異議なしで承認

▼平成24年度吉野川市一般会計補正予算 第1号について

質問

庁舎統合後、山川庁舎の一部を公民館として利用することだが、公民館の場合、休日に利用することが多いと思う。その場合、公民館の出入りはどうなるのか、1階部分を通ることになるのか、または別の通路を設けることになるのか。

用できるようになる。1階の通路部分には、セキユリティーの関係上シャッターを設置し入れ

決定

◇以上異議なしで可と

答弁

山川庁舎2階の公民館部分は、休日でも利



山川庁舎1階

替えの年で土地評価鑑定の結果、下落などがみられた。評価額が下がることにより課税標準額も一部下落した。また、家屋などの評価額の見直しも平成23年度に行われ、平成24年度固定資産課税額については、減額となっ

代表・一般

ここが聞きたい

質問

6月議会定例会では7名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 近久善博 議員

● 吉野川市長選挙について

○ 乳幼児等医療費助成制度の対象年齢拡大について

○ 山川庁舎の活用計画について

○ 養護老人ホーム芳越荘の民間移管について

○ 教育関係施設の充実について

一般質問

② 相原一永 議員

● 防災対策について

○ 高齢者に対する熱中症対策について

○ 武道必修化で柔道を選択している鴨島東中学校の安全性について

③ 福岡正 議員

● 乳幼児等医療費助成制度について

○ 生活保護制度について

④ 枝澤幹太 議員

○ 再生可能エネルギーについて

○ 生活保護制度について

● 木材の需要促進について

⑤ 高木純 議員

○ 小・中学校児童・生徒の健康と通学の安全確保について

● 買い物難民対策について

○ 環境センターの統合について

○ 住宅新築資金償還状況について

⑥ 岡田光男 議員

○ 医療費の公費負担について

● 麻植協同病院の新築移転について

○ 健康遊具について

○ TPP参加に対する市長の見解は

○ 消費税増税に対する市長の見解は

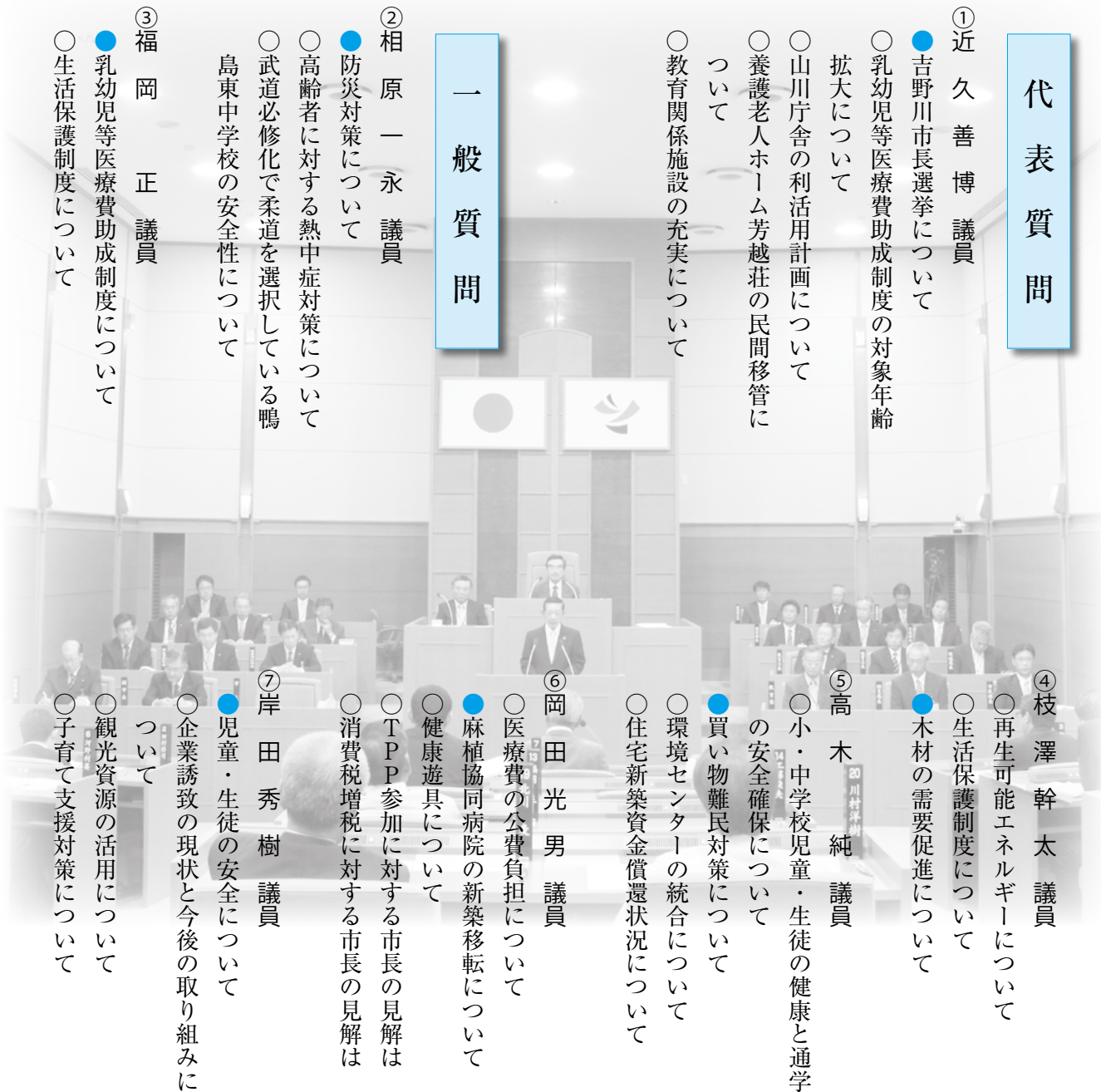
⑦ 岸田秀樹 議員

● 児童・生徒の安全について

○ 企業誘致の現状と今後の取り組みについて

○ 観光資源の活用について

○ 子育て支援対策について



平成24年6月議会定例会

代表質問



近久善博 議員
(薫風会)

市長の3選出馬の意向は

(質問)

不退転の覚悟で出馬を決意する

(答弁)

◎質問 市長は本市のまちづくりに関して、子育て支援や教育関係の整備、防災減災対策の推進、学校施設の耐震化、給食センターの整備、庁舎の統合、消防本部と東消防署の改築移転、また簡素で効率的な行財政運営をめざし公共施設の民営化、指定管理者制度の導入など民間活力を活用し積極的に推進している。

今後はこども園の整備や環境関係施設の統合、山川庁舎の改修さらに麻植協同病院の新築移転、

学校再編や公共施設の民営化、また地方分権に伴う多くの政策課題など、市の発展にどれひとつ欠かすことができない諸課題が残されている。行政の責任者としてこれらの問題に対して再度市長選に出馬し問題解決にあたるのか。

○川真田市長 市長就任後、市民本位の市政運営と合併効果を生かした行財政改革の推進、まちづくりの取り組みに関しては公正で公平な市政運営

に努力してきたと思っている。市が直面した喫緊の課題に対しては迅速かつ的確に対処し、合併支援終了後も堅実な財政維持をしながら本市の発展へとつないでいかなければと考えている。市長として、その責任をしっかりと自覚したうえで市長選への出馬を不退転の覚悟を持って決意し、謹んで出馬表明したいと考えている。



代表質問に答弁する市長

[その他の質問]

◎質問 乳幼児等医療費助成制度の対象年齢を拡大し、中学校卒業までとするは。

○市長 拡大に向け9月議会では報告できるようにしたい。

◎質問 山川庁舎の利活用計画は。

○総務部次長 商工会や山川公民館として活用したい。

◎質問 養護老人ホーム芳越荘の民間移管は。

○健康福祉部長 現在は指定管理者運営となっているが民間移行を検討。

◎質問 小・中学校普通教室以外のエアコン設置は。

○教育次長 音楽室など特別教室に対しても検討

する。

◎質問 鴨島運動場の整備は。

○教育次長 使用団体にグラウンドの整備をお願いしているが、大規模改修も視野に入れ検討する。

◎質問 幼・小・中学校通学路の安全確保は。

○総務部次長 各学校、警察署、保護者など各協力団体が連携し交通安全環境の確保を図っていき



平成24年6月議会定例会

一般質問



相原 一 永 議員

地域防災計画に女性の意見を取り入れてはどうか

(質問)

協議し女性が防災に関わるようにしたい

(答弁)

◎質問 災害時の避難所は女性のプライバシーが保護されているか。

地域防災計画の見直しにあたり、委員の構成メンバーの中に女性は含まれているのか。また、女性の意見を取り入れてはどうか。

災害時のオストメイトの方々に対する支援策として、ストーマ装具の支給体制、備蓄、保管、トイレなど支援・医療品の供給体制は。

災害時や登下校中の交通事故などから子どもた

ちの生命を守るために小学校・中学校に防災ヘルメット、幼稚園に防災ずきんを配布してはどうか。

○上野防災局長 避難所管理運営計画の中で、男女のニーズの違いなど、プライバシーの確保に配慮するように明示されているのでプライバシーの保護はできると思っております。

地域防災計画の審議委員の中に女性はいない。しかし見直しなどには女

性の視点で見ることが必要なので市長と協議し、女性が関わるようにしたい。

現在ストーマ器具の支給体制、備蓄、保管はできていない。非常用ストーマ器具もあるので関係部局と連携し、他市町村の取り組みを参考にしたい。

また、トイレの支援は今後、新築・改築する公共施設は基本的に設置するようお願いする。医療の供給体制は各自防災会に貸与している災害用の救急箱約40名分備蓄しているが足りない場合は県にお願いする。

○貞野教育次長 園児・児童・生徒の安全確保のため防災ヘルメット・防災ずきんの活用について検討したい。

◎再問 昨年の大震災での避難所の多くは間仕切りや更衣室がなく、女性は着替えを布団の中

で行っていた。また、仮設トイレも男女共用が多く、安心して使えなかったなど女性の視点が反映

布・化学繊維を使ったトイレは夜間、中に懐中電灯が入った場合、シルエットが映る可能性がある



阪神・淡路大震災

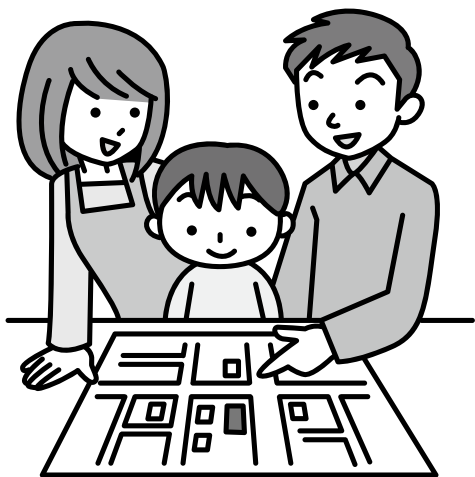
された避難所でなかった。避難所は多様な女性のニーズに応じた支援が必要だ。テントのような

る。市としてはどのような仮設トイレを予定しているのか。オストメイトの方やイ

ンシユリン・酸素吸入などが必要な在宅療養者の方々の正確な所在状況や人数の把握が重要だと思ふ。市として、日本オストミー協会徳島県支部・徳島県障害者連合会との連携や広報掲載・各自治会の協力を得て回覧板を回すなどで実態を把握し、災害時の盤石な備えが大切ではないか。

○上野防災局長 避難所は耐震化がほとんど済んでいるので倒壊しないと考えているが、水道・下水道が使用できない場合、便器に排便収納袋をセットし排便後薬剤を投入し対応する。

○鎌田福祉事務所長 障がい者の災害対策の確立に努めるとともに身体障害者会などと連携し、災害時要援護者登録制度事業の周知を図り登録者を増やしたい。実態調査は関係部局と協議する。



◎質問 徳島県は本年10月から乳幼児等医療費の助成対象を小学校修了まで拡大することだが、本市ではすでに平成21年11月から助成対象を小学校卒業までとしている。

厳しい経済状況の中、子育て中の家庭にはなお一層の支援が必要と思われるが、医療費助成制度の対象を中学校修了まで拡大した場合、本市の負担はどの程度増加するのか。

◎河野健康福祉部長 現在、本市の中学生徒数約1000名で、年間医療費は約1800万円と見込んでいる。県の補助対象が小学校修了まで拡大されても県補助金は約1000万円なので、助成対象を中学校修了まで拡大すると、市の負担は新たに約800万円必要となる。

◎再問 現在、県下では6町1村が助成対象を中学校修了までとしている。

この乳幼児等医療費助成制度は少子化対策や子育て環境の整備につながる政策であり、初期の受診がしやすく健康増進への効果も大きい。

県の制度拡大に伴い市の負担は軽くなるが、この際、次世代を担う子どもたちの保健の向上と福祉の増進を図るとともに、子育て支援の充実のため中学校卒業まで助成制度を拡大する考えはな

いのか。

○川真田市長 対象年齢の拡大には新たな財政負担が必要になるが、子育て世代の支援として夢や希望を持てるまちづくりのために努めていきたいと考えている。

助成制度を拡大するた

めには予算措置や条例改正が必要であるため、9月議会に提案できるように準備を進めていく。

○福祉事務所長 生活保護は増加傾向である。市は就労可能な方に安定的な就労機会を確保するなどの半面、生活保護法や保護基準に基づき、適正な事業運営に努めていきたい。

◎質問 本市の生活保護の状況と市の取り組みは。

【その他の質問】

9月議会に条例改正案を提案

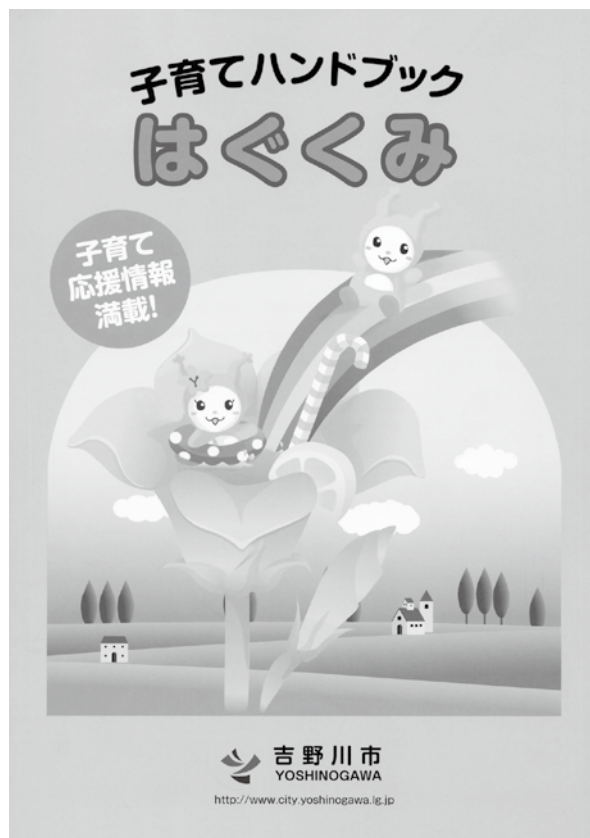
(答弁)

乳幼児等医療費助成対象年齢拡大の考えは

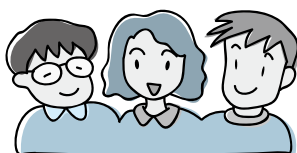
(質問)



福岡 正 議員



本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

TEL 22-2241



枝澤 幹 太 議員

市有林の木材を耐震化事業に利用する考えは

(質問)

積極的に活用されるよう供給体制を整える

(答弁)

協議し、ストックの場所についても検討を進める。

◎再問 住宅建築に市有林の木材を無償提供する考えは。

◎井内産業経済部長 住宅建築に木材の無償提供の支援をすれば、定住促進や木造住宅建築の推進になり地元産業の振興策となる。吉野川流域林業活性化センターを中心に今後設立予定の認証組織の協議の中で建築費の助成措置など十分検討したい。

◎質問 吉野川市は総面積の56%が森林で、杉、桧の人工林は3500haあり、その75%が植林後41年生以上の利用可能な森林である。このうち約400haが市有林である。

また、市では木造住宅の耐震診断事業、耐震改修事業への補助金助成制度により、三連動地震への対応施策を行っている。これからは、この森林資源を市の経済活性化に有効に活用するため積極的に搬出し、耐震化

◎井内産業経済部長 耐震改修工事に利用する木材については、補強材としての強度など、適性については、工事を実施する担当部局に判断をゆだねたい。利用が可能な場合は、積極的に活用されるよう供給体制を整えていく。

今後、市有林の間伐による木材を安定して利用するためには関係機関と

◎再々問 公共施設に、市、私有林の利用促進を図る考えは。

また、木材の製品化に向けて乾燥設備を市内に設けては。

◎井内産業経済部長 公共建築物などにおける木材の利用促進に関する方針を本年3月に定めた。公共建築物などの木造



市有林

[その他の質問]

◎質問 再生可能エネルギーに対して市の考えは。

◎環境局長 全国市長会などで将来を見据えたエネルギーの検討を要望する。

◎質問 保養センター上桜の跡地利用は。

◎市長 県立川島中学校、川島高校のグラウンドとして充実活用するため具体的な方針を決定したい。

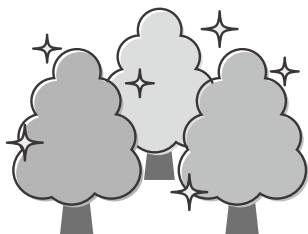
化、内装材の木質化を促進し率先して地域産材、県産材の利用拡大を図ることとした。

阿波麻植森林組合管内

の木材を木造住宅建築にすべて使用しても木材生産量に比較して需要量は大きく木材の地産地消は十分可能である。また木

材の運送、乾燥などの流通コスト削減にもなり市内業者が建築に携わることで地元産業の振興になる。

今後、関係機関と連携し、地域の木材需要の促進に努め乾燥施設の設置については重要課題として検討したい。



◎質問 庁舎間巡回バスについては過去に何度も質問している。その主旨は、買物難民が激増しており、これを何とかするため市民の足としての交通機関が必要だが、当面は今走っている巡回バスを市民が利用しやすいように改善できないかと要望してきた。

たりの利用者は平均1・36人。これは朝1番の便で4、5人が往復すればあとはガラガラ状態ということになる。

市が停留所を増やしたのは市民にもっと利用してもらうためだが、残念ながら微増。

同時期に、美馬市では買い物に困っている山間地の市民のために昨年6月にデマンドバスを運行しているが、1か月目は利用者が少なかつたのだが、徐々に利用者が増えはじめて、今は始めた頃

の3倍になり、まだ増える傾向にある。

なぜ美馬市のデマンドバスの利用者が増えているのか、美馬市のふるさと振興課に聞いてみると、何度も何度も運行内容を見直して、市民が利用しやすいように改善したようである。もちろんその都度、「広報」で知

らせるので職員の仕事量もかなり増えたそうだ。

本市の庁舎間巡回バスと、美馬市のデマンドバスは同じではないが、市民にもっと利用してもらいたいというのは同じはずである。鴨島町から美郷まで税金を使ったバスが走っているが、それがガラガラ状態ではもった

いない。美馬市は乗る人が増えるように何度も何度も改善してきた。しかし本市は何もしないで、ガラガラでも平気。この違いは何によって生じるのか疑問に思う。これから先、巡回バスを市民がもっと利用しやすいように運行内容を改善すべきだと思うが。

○増富総務部次長 巡回バスの利用率は1割弱程度であるが増加している。今後庁舎統合後における利用状況の検証も必要になってくると考えている。

買物難民対策としての巡回バスの運行の見直しについては、巡回バスが無料であることから、公共的な目的に限定されると考えており、ルートの変更は限定的となるが、どこまで買物難民対策として有効なのかなど検証を行う必要があると考えている。



高木 純 議員

巡回バスを市民が利用しやすいように改善できないか

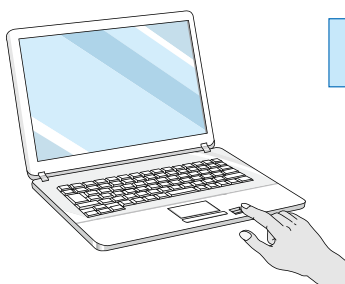
(質問)

課題や問題はあるので検証を行いたい

(答弁)



市の巡回バス



● ● ● 会議録をご覧ください ● ● ●

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

吉野川市議会会議録

検索



岡田光男 議員

麻植協同病院建設は地元住民の声を

(質問)

住民の不安を払拭するよう意見を述べていきたい

(答弁)

◎質問 麻植協同病院新築移転に関し、周辺住民への説明会があったが、説明会での意見や要望に市としてどう対応するか。

○桑村総務部長 地下水の利用については、上水すべてを地下水で補う計画であり、日量最大で300m³を予定している。もし汚濁などの問題が起これば、J A徳島県厚生農業協同組合連合として真摯に対応したい旨聞いている。

産科分娩の再開については、病院長から努力している旨の発言があり、ハード面では、新病院の産婦人科に19床のベッドも計画しており、今後は必要な産婦人科医師の確保など、病院側と協議しながら、市としての支援を検討していきたい。

○麻植建設部次長 新病院の敷地を囲む周辺道路については、標準的な幅員は6mを考えているが、単に拡幅するのでなく、歩行者の安全を最優

先とすることを基本としたい。また、車両同士が対向可能な待避場所を設けたり、車両の走行速度を抑制できる構造を念頭に整備を進めたい。

○工藤水道部長 污水排水については、本市の下

水道を利用し日量300m³を予測し、鉄道に沿った東西の市道に埋設された800mmの下水管に、汚水用ポンプから圧送管で排出する予定である。

◎再問 日量300tの地下水のくみ上げは、県指定

の天然記念物である「水温異常現象」などに影響はないのか。

○桑村総務部長 地下水利用については、4月に

試掘ボーリングによる揚水試験を実施したり、観測井戸も掘り、地下水に変わりがない旨確認済みとなっている。天然記念物については、県教育委員会とも十分協議し、できるだけ影響がないよう対策を講じたい。

◎再々問 住民の不安や疑問が解消されない状態で、開発許可を出さないように求める。

○河野副市長 施工業者が年明けに決定した後に、工事方法や周辺対策も含め、詳しい地元説明会などを行っていくと聞いている。県の開発許可については、住民の不安を払拭するよう充分意見を述べていきたい。

○市長 関係団体と連携して、慎重に対応したい。

「その他の質問」

◎質問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に公費負担は。

○健康福祉部長 高齢者の疾病予防としては重要。国や県の動向を注視したい。

◎質問 健康遊具を公園内に設置できないか。

○健康福祉部長 新たな公園作りの際などに、関係部局に働きかけたい。

◎質問 消費税増税に市長の対応は。

○市長 国民の議論による課題と考える。

◎質問 TPPに対する市の考えは。

○市長 関係団体と連携して、慎重に対応したい。



麻植協同病院建設の地元説明会



岸田 秀樹 議員

自転車運転免許制を導入する考 えは

(質問)

今後関係諸機関とも協議し検討 したい

(答弁)

◎質問 現代社会は、車が優先な状態である。その中、子どもたちが登下校に自転車をを使う時、1列はまだしも2列・3列になったりしながら登下校しているのが、現状であり、ひとつ間違えば事故を起こすという可能性が高い状態で通学している。

本市の場合、中学校4校の生徒中約96%が自転車通学をしており、高校生では川島高校が約43%および吉野川高校約57%が同じく通学に利用して

おり、また通学には利用しないが小学生は3年生から自転車の利用を認められていると聞きおよびが、自転車通学路などの地域の走行環境は非常に厳しいのが現状である。

東京の荒川区が日本で初めて自転車運転免許制を導入し、その後各地域の自治体も導入している現状に、本市においても

子どもへの安全安心教育でいくのであれば、子どもたちが、安全に走行するためにも、交通ルールを尊重し、自分の命は自分

で守るという意識を育てる必要がある、本市には本市としてのルールを決めるためにも自転車免許制度を導入するべきであると考え、現在、本市では各小・中学校は自転車免許制度を導入しているのかどうか。

導入しているとすれば運用方法は。

集団登校の現状と安全対策について、他の県で集団登校時に生徒の列に車が突っ込み児童が亡くなるという悲しい事故が、続けて3か所で起きた。その後、本市でも新たに交通事故防止対策委員会を立ち上げたこと聞いているが、各学校ごとに集団登校の取り組み方が違っていると思う。教育委員会としては現在の状況と、どのような安全対策をとっているのか。

○貞野教育次長 交通安全教室で検定を行い、合格した場合に、公道での自転車の乗車許可をして



登校中の児童

いる小学校は、14校中3校で、その他の学校は交通安全終了後に許可したり、保護者の判断に任せ

者には法的効力がないが自転車免許証を交付する制度を取り入れていない。安全運転、交通ルールの遵守には有効な手段と考

3年生以上という学年を設定する学校は10校で、他の4校は設定して

るので自転車免許制度の導入については、今後関係諸機関とも協議して

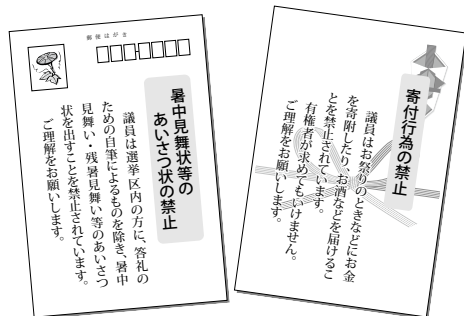
免許制度つまり学科試験と実技試験を行い、合格

集団登校の現状は、集団登校を実施している小

学校は14校中7校で、その他の学校は地域の実情に応じて自主的に行っている。

安全対策については、各学校で保護者や教職員、地域のボランティアの方たちとスクールガードの方々が、交差点や危険箇所などで交通指導に取り組んでいる。

また登校する子どもたちと一緒に歩く保護者やスクールガードの方々もいる。



6月議会定例会において 正副議長の改選・監査委員の選任(議会選出) および委員会構成の変更がありました

議長あいさつ



議長
工藤 俊夫

6月定例議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、市議会第8代議長の要職を担うことになりました。議会議長に課せられた職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。市民の皆様から付託された、市行政の議決機関として、市議会の円滑な運営のため微力ながら全力を尽くし、吉野川市の発展のために山積している諸課題をひとつひとつ行政職員の方々と共に解決していけるよう努力いたします。そして、本市がどこよりも安全で安心して生活のできる「世代を超え、夢紡ぐまち」をめざしていきます。市民の皆様におかれましても、なお、一層のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

副議長あいさつ



副議長
栗原 五男

6月定例議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。身に余る光栄と責任の重大さを痛感しております。本来の議会の役割を充分認識し、微力では

各委員会構成

〔常任委員会〕

総務常任委員会

- 委員長 山下 智
- 副委員長 岸田 秀樹
- 委員 榎納 謙司
- 委員 枝澤 幹太
- 委員 栗原 五男
- 委員 工藤 俊夫
- 委員 北川 麦

文教厚生常任委員会

- 委員長 田村 修司
- 副委員長 川村 洋樹
- 委員 藤原 一正
- 委員 玉水 好夫
- 委員 福岡 正
- 委員 近久 善博
- 委員 岡田 光男

産業建設常任委員会

- 委員長 岸田 益雄
- 副委員長 増富 義明
- 委員 細井 英輔
- 委員 相原 一永
- 委員 河野 利英
- 委員 塩田 吉男
- 委員 高木 純

〔議会運営委員会〕

- 委員長 枝澤 幹太
- 副委員長 榎納 謙司
- 委員 相原 一永
- 委員 山下 智
- 委員 川村 洋樹
- 委員 高木 純

〔議会広報特別委員会〕

- 委員長 相原 一永
- 副委員長 岡田 光男
- 委員 福岡 正
- 委員 増富 義明
- 委員 近久 善博
- 委員 山下 智
- 委員 北川 麦
- 委員 河野 利英

〔監査委員〕

- 委員 河野 利英

▼ 薫風会

- 代表 近久 善博
- 副代表・経理責任者 岸田 益雄

▼ 民主・市民ネットワーク

- 代表・経理責任者 川村 洋樹
- 副代表 北川 麦

▼ 市政クラブ

- 代表 増富 義明
- 副代表・経理責任者 榎納 謙司

▼ 麻植会

- 代表 藤原 一正
- 副代表 相原 一永

▼ 日本共産党

- 代表 岡田 光男
- 副代表 高木 純

▼ 郷土会

- 代表 岸田 秀樹

市民のページ

私たちのボランティア活動

山川町 井内 誉 範

(芸名・トリックマン)

な楽しさを味わってもら
うよう心掛けて来た。

趣味で始めたマジックも年数だけは50年を数える。三味線と唄の民謡を楽しんでる井上清・ヤス子夫妻が近くに居た。5年程前に意気投合して3人だけの「歓満会」を立ち上げ、吉野川市内の学校・老人福祉施設を中心に声がかれば県内どこでもマイカーで出かけて行って、実演回数も70回を越えた。

阿波の方言に「かんまんかい」という言葉がある。それに「歓満会」と漢字をあてた。

「歓満会」のボランティアは参加型である。客にマイクを回して、一寸だけ歌手になった気持ちになってもらう。簡単な物を使ってマジックをしてマジシャンになったよう

に、いっぱい楽しみ、喜んでもらう会という意味である。そのためには私たち実演者が楽しく演技できる事である。3人はずぶの素人なので、練習を積んで演技力をつける他に方法はない。そして出演回数を多くして舞台度胸をつけることが必要だ。

「歓満会」のボランティアは参加型である。客にマイクを回して、一寸だけ歌手になった気持ちになってもらう。簡単な物を使ってマジックをしてマジシャンになったよう

「かんまんかい」な。

クイズ



吉野川市の名所「母衣暮露滝」ですが、なんと読むのでしょうか。



☆ヒント：落差約30mの滝で、標高700mの県有林内、美郷の最西端にあります。

◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

◎ 応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎ 送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL(0883)22-2241 FAX(0883)22-2242

◎ 締め切り日／平成24年10月5日(消印有効)

チョットひと言

☆小2の娘が、先日給食センターへ遠足に行きました。きれいな設備に大きな鍋やしゃもじに驚いていました。これからも安全で美味しい給食をお願いします。

(鴨島町 松井さま)

☆今年も田植えの時期がきました。お米の種類もたくさんありますが、お米と言ったらやっぱりはたるのめぐみです。美郷の「みさとや」にあります。一度、ご賞味あれ。

(山川町 杉野さま)

◎(前回の回答) ①なす ②しろねぎ ③ぶどう ④にんじん

⑤しらぬい・しらぬひ・でこぼん ⑥きゅうり ⑦とうもろこし

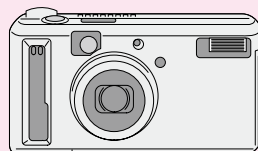
⑧ほうれんそう 【応募総数】37通

募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規 定** モノクロおよびカラープリント 2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成24年10月31日（消印有効）
発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募

集



表紙の写真

市民の皆さんの
声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観などに渡って文章を募集します。フアックスでも結構です。

：規定：

● 400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

● 締め切り

平成24年10月5日（消印有効）

* 投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

：あて先：

〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL (0883) 22-2241

FAX (0883) 22-2242

あ と が き

6月議会が6月22日で閉会となり、代表質問および一般質問では、乳幼児等医療費助成を中学校卒業までの無料化を求める質問が多くありました。市は住民の要望や議会でも議員の多くが取りあげてきたこともあって、医療費の無料化を中学校卒業まで拡大すると答弁しました。このことは子育て世代のみならずその家族にとっても朗報でなかったかと思えます。

議会広報では、少しでも議会が身近に感じられるようにと「クイズ」もあり多くのの方に応募

していただいております。同時に書き添えられている読者の方からの「チョット一言」は私たちの励みともなっています。今後とも「議会だより」が多くの人に見ていただけるよう、紙面作りに努力したいと思います。

岡田 光男

